株式会社キッツエスシーティー

会社説明

株式会社キッツエスシーティーは、1982年の設立以来、半導体・液晶（FPD）製造分野における「流体制御のスペシャリスト」として、最先端技術の発展を支え続けてきました。東証プライム上場のバルブ総合メーカー、株式会社キッツのグループ企業として、グループが誇る「流体制御技術」と、当社独自の「超クリーン技術」を融合させた付加価値の高い製品を提供しています。

当社の最大の強みは、社名にも冠されている「Super Clean Technology（SCT）」です。半導体製造プロセスでは、目に見えない微細な不純物（パーティクル）やガス成分が歩留まりに直結するため、極限の清浄度が求められます。当社は、長年培ってきた電解研磨（EP）技術や超精密洗浄技術、特殊溶接技術を駆使し、超高純度ガスの供給や真空排気系に対応する高信頼性バルブ、継手、配管部材を世に送り出しています。

また、群馬県にあるマザー工場「新田SC工場」を中心とした一貫生産体制も大きな特徴です。素材の受け入れから、精密加工、クリーンルーム内での組立・検査、そして出荷に至るまでの全工程を自社でコントロールすることで、徹底した品質管理と短納期、多品種少量生産への柔軟な対応を可能にしています。近年では単体部品の供給に留まらず、複数の制御機器を組み合わせた「ガスパネル」や「ユニット製品」のエンジニアリングにも注力しており、顧客の装置開発における工数削減や省スペース化といったソリューション提案を強化しています。

さらに、グローバル展開においても積極的です。日本国内のみならず、北米、欧州、中国、台湾、韓国など世界の主要な半導体市場に拠点を構え、現地の装置メーカーやデバイスメーカーとの緊密な連携を図っています。環境への取り組みとしても、太陽光発電の導入や資源リサイクルを推進しており、「環境・安全・品質・先端技術」を軸に、持続可能な社会への貢献を目指しています。

「情熱・誇り・スピード」をモットーに、AIやIoTの普及で重要度が増す半導体産業において、世界中のお客様から「選ばれ続ける企業」として、常に期待を超える価値を提供し続ける進化型のモノづくり企業です。

会社概要

本社所在地
日本

事業内容
半導体製造装置および周辺機器用配管部材、ガスパネル、ユニット類の開発・製造・販売 / 各種超高純度流体用配管部材およびユニット類の開発・製造・販売

代表取締役
前川 知哉

設立年
1982年（昭和57年）5月

資本金
3億円

従業員数
101 - 500人

URL
https://www.kitzsct.com/

オフィス情報

メインオフィス
〒1057305
東京都 港区 東新橋一丁目9番1号
東京汐留ビルディング